

日時:11月17日(土),15:40～17:30

参加人数 52名

場所:千葉市生涯学習センター B 1階 メディアエッグ(地図)

研修会内容

テーマ:『凝固・線溶検査をもう一度見直そう!』

演題1「凝固スクリーニング検査の異常値～その時どうする?～」

船橋市立医療センター 臨床検査科 福田 幸広 技師

演題2「血液凝固検査にかかわる採血管情報」

積水メディカル株式会社 東日本学術グループ 須長 宏行 様

演題3「プロトロンビン時間(PT)の標準化」

～検査の特性と問題点、抗凝固療法との関係を整理する～

東京医科大学 臨床検査医学講座 派遣講師 香川 和彦 先生

講演4「今さら聞けない血液検査(干渉血液検査研究班サーベイ速報)」

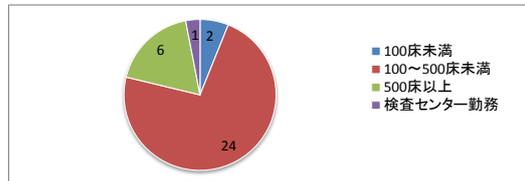
順天堂大学医学部附属浦安病院 臨床検査医学科 澤田 朝寛 技師



アンケート結果

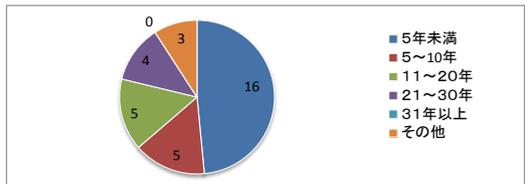
1.あなたの勤務先の病床規模はいつですか。

100床未満	2
100～500床未満	24
500床以上	6
検査センター勤務	1
その他	1



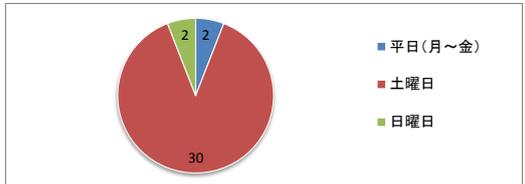
2. あなたの血液検査経験は何年ですか？

5年未満	16
5～10年	5
11～20年	5
21～30年	4
31年以上	0
その他	3



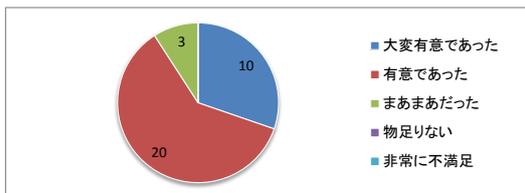
3.研修日について、希望の曜日または時間はありますか。

平日(月～金)	2
土曜日	30
日曜日	2
・平日19時から	
・土曜日16時から	
・土曜日15～16時から	
・土曜日午後から	



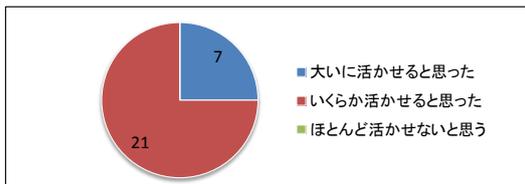
4. 今回の血液研修会についてどのような印象をお持ちですか？

大変有意であった	10
有意であった	20
まあまあだった	3
物足りない	0
非常に不満足	0
・香川先生の話は大変参考になった。	
・PTの%表示について考えさせられた	
・PT-INRについての理解を深めることができ勉強になった。	
・基礎から新しい話題まであったため、講演者がわかりやすかったです。	
・新しい知見を知ることができた。	
・最初の方が早足すぎた。	
・初めて知ることが多く、多くのことを学ぶことができた。	
・PTのINRの問題点を知ることができた。	
・INR、ISIの意味が少し理解できてよかった。	
・採血量の許容量とか	
・香川先生の講演を聞いた	



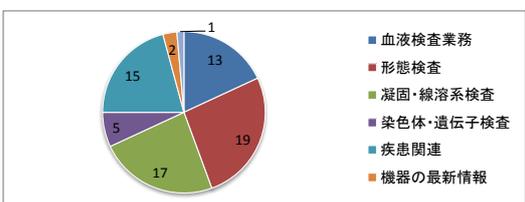
5. 研修内容は今後の職務に活かせると感じましたか。

大いに活かせると思った	7
いくらか活かせると思った	21
ほとんど活かさせないと思う	0
・PTの表記について最新の内容については、これから検討したい(%、秒数)について	
・採血管についての知識や抗凝固薬についての知識などを身に付けることができたので臨床に対するアドバイスに活かしていければと思う。	
・血液業務の他に生化学、免疫、輸血業務も兼務しており、採血管についての話で生化学などの採血管についても話してあり、大変勉強になった。	
・肝機能障害の患者のINRの理解ができ、臨床に伝えられると思う。	
・INR延長の対応とか	



6.今後の血液研修会の内容について、一番関心の高いものは何ですか。(複数回答可)

血液検査業務	13
形態検査	19
凝固・線溶系検査	17
染色体・遺伝子検査	5
疾患関連	15
機器の最新情報	2
その他	1
・骨髓検査の見方、分類上のエッセンス	



7. 今後、希望する研修会テーマはございますか。

- ・本日などは香川先生のみで良いのでは？
- ・末梢血の形態検査について
- ・骨髓検査を行う場合のコツ
- ・新しい凝固検査
- ・分類上の日頃の疑問
- ・血液検査をどのように行っているかを知りたい。
- ・リンパ腫関連
- ・悪性腫瘍浸潤
- ・形態実習
- ・形態学

8. 今後希望する「いまさら聞けない血液検査」のテーマはございますか？

- ・細胞名をはっきり言ってほしい
- ・最近話題のFMC(FM)の臨床的意義
- ・リンパ節の細胞の見方の解説(最近M.Lymphomaの症例が多くなっている)
- ・血算結果のみかた
- ・スキヤッタグラムの見方、考え方
- ・血液の担当者では無いので基礎的なところを聞いてみたいです。
- ・特に凝固については他のコメディカルに聞かれることが多いので知りたい。
- ・報告単位について最新状況
- ・血液像(どのような病態のとき、この白血球(好中球、リンパ、単球など)が増えるなど
- ・なぜAPTTの標準化が進まないのか？生化学の常識にからするとPT、APTTの標準化が進んでいないのが信じられず、APTTはかなりいいかげん
- ・2重染色の現状を知りたい
- ・凝固検体の保存の仕方、ならびに追加検査依頼が出た時の対応(保存時間にかんして)

9. 今年度の血液検査サーベイで、なにかご意見はありますか？

- ・血液像の検体は炎症性疾患を持った方ではなくて、G-CSFをうった患者さんのを用いるのはどうでしょうか？
- ・今回のように正常細胞の見分け方をこれからもやって頂きたい。
- ・血算の試薬の安定性をもっと検討してほしいと思った。
- ・フォトサーベイは同一の細胞でも核施設の評価がわかって良い。
- ・中毒性顆粒がない細胞を希望
- ・凝固ができませんか？
- ・案内が分かりやすく良かったようです。

10. 血液検査研究班に、なにかご意見はありますか？

- ・時間厳守してほしい、本日の予定は～17:30では？
- ・標本の細胞をはっきり○○に分類しましょう・・・として欲しい
- ・来年度も南房総地区でお願いします。
- ・当院は用手法での凝固時間を行っていますが、行う意義について教えて下さい。現在は機械がよくなってきたのでPTとAPTTで対応できると思います。